

授業科目名	アニマルビジネス	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	独立開業ゼミ	開講年度	2021	配当年次	3
開講科目英名	Seminar for Opening Own Business	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	外資ペットフードメーカーに於ける輸入計画・販売計画の立案。企画販売およびセミナー開催・講演。 独立後ペット用品流通業界でのコンサルティング・販売促進を手掛けながら、自ら輸入ペットフードの販売や総合ペットショップを運営。				
授業の概要・目的	<p>経営の基本、マーケティングの基本、マネジメントの基本、物流と商流の基本、ディスプレイの基本を学習。 メーカー訪問・・・メーカーマーケティング/商品開発のレクチャー 卸企業訪問・・・問屋マーケティング/物流業としての在庫から出荷までの流れのレクチャー。 模擬店出店・・・学生自らがテーマ(コンセプト)を決めて、商品選定/POP/ポスター作製、陳列、接客販売を体験する。 独立開業の有無を問わず、業界人としてのスキルを身に付けることによって、社会人としての活躍の基礎となす。</p>				
到達目標	<p>○可能な限りの即戦力性の育成 ○自立性の育成</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ペット業界の現状を知ることにより理解を深める	16	経営の基本③ペットショップ、ペットサロン経営の基本的考え方		
2	物流、商流とは何か。物流の在り方と重要性/問題点	17	会社設立のためのプランニング		
3	日本の商習慣と業態別商流の問題点	18	マネジメントの基本①組織マネジメントとは		
4	メーカーマーケティング(メーカー訪問)	19	マネジメントの基本②自己管理、部下の管理、目標設定と計画立案、アクションレビュー		
5	卸業マーケティング(卸企業訪問)	20	マーケティングの応用①自己のペット業界における位置付けから考えるマーケティング。美容、物販、訓練、カフェ、生体販売それぞれの角度から考える力を養う。		
6	マーケティングの基本①価格ストラクチャーと粗利計算、商品知識	21	マーケティングの応用①自己のペット業界における位置付けから考えるマーケティング。美容、物販、訓練、カフェ、生体販売それぞれの角度から考える力を養う。		
7	マーケティングの基本②ペットショップマーケティング	22	マーケティングの応用②ペット専門店のマーケティング。今後の国内専門店が目指すべき方向を考え、どのようなマーケティングを行えば良いかを導き出す。		
8	マーケティングの基本③ビジネスプラン/戦術(tactic)と戦略(strategy)	23	業界展示会見学(日本ウエイン株式会社を予定)		
9	ディスプレイの基本①ディスプレイとは何か。そのセオリーと役割	24	ドッグイベントでの模擬店出店準備① コンセプトと内容のプランニング		
10	ディスプレイの基本②ディスプレイの応用(校外でのショップ見学)	25	ドッグイベントでの模擬店出店準備②商品設定(ペット商事)		
11	ディスプレイの基本③ペットショップディスプレイ(ペットコロニーくずは店)	26	ドッグイベントでの模擬店出店準備③POP・ポスター作製		
12	経営の基本①経営とは何か。会社とは何か。株主・役員・社員の役割	27	ドッグイベントでの模擬店出店④接客販売体験		
13	経営の基本②マーケットに於けるペット業界の位置付けとその特殊性	28	WeareECO模擬店 コンセプトと内容の決定 商品選定(ペットコロニーくずは店)		
14	前期授業のまとめ	29	WeareECO模擬店 POP、ポスター作製		
15	振り返り	30	年間の総括		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	前期/筆記試験 後期/実技評価				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	グルーミング演習Ⅱ	開講年度	2021	配当年次	3
開講科目英名	Practice of Basic Grooming Ⅱ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	120(8)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>短時間でグルーミングトリミングを身に付ける事を目標とし作業手順を組み立て、計算しながらトリミングを行う。初めは二人で一頭をトリミングするが、最終的には一人で2コマの間に一頭を仕上げられるようにします。</p>				
到達目標	<p>即戦力になるためのトリミング技術、犬のコントロール、心構え、作業手順を身に付けてもらいます。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	二人で一頭を3時間以内に仕上げる	16	一人一頭を2コマ以内に仕上げられるようにする		
2	二人で一頭を3時間以内に仕上げる	17	一人一頭を2コマ以内に仕上げられるようにする		
3	二人で一頭を3時間以内に仕上げる	18	一人一頭を2コマ以内に仕上げられるようにする		
4	二人で一頭を3時間以内に仕上げる	19	一人一頭を2コマ以内に仕上げられるようにする		
5	二人で一頭を3時間以内に仕上げる	20	一人一頭を2コマ以内に仕上げられるようにする		
6	作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す	21	A級検定		
7	作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す	22	A級検定		
8	作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す	23	一人である場合の作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す		
9	作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す	24	一人である場合の作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す		
10	作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す	25	一人である場合の作業内容の組み立て、効率アップ、時間短縮を目指す		
11	カットの時間配分、荒刈り時間の短縮を決めて作業する	26	効率のいい作業を研究し、短時間に美しい仕上がりを目指す		
12	カットの時間配分、荒刈り時間の短縮を決めて作業する	27	効率のいい作業を研究し、短時間に美しい仕上がりを目指す		
13	総括・授業内評価・スピード、手際、コントロール、意欲	28	総括・授業内評価・スピード・手際・コントロール・意欲		
14	カットの時間配分、荒刈り時間の短縮を決めて作業する	29	効率のいい作業を研究し、短時間に美しい仕上がりを目指す		
15	カットの時間配分、荒刈り時間の短縮を決めて作業する	30	効率のいい作業を研究し、短時間に美しい仕上がりを目指す		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	授業内評価・スピード・手際・コントロール・意欲・出欠・提出物などで評価します				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トリミング演習Ⅱ	開講年度	2021	配当年次	3
開講科目英名	Practice of Grooming Ⅱ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	90(6)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>犬の体形、毛質、毛量、要望を考え、スピーディーにバランスよく美しく仕上げる。犬の性質、気質、気持ちを察してあげながらコントロールし、ストレスをためないようにしてあげる。</p>				
到達目標	<p>即戦力となるグルーミング、トリミングを身に付け、同時に犬に対する配慮と、その先にいる飼い主様に満足してもらえるトリマーを目指す。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ベーシックを再確認し、苦手な作業の克服とスピードアップ	16	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す		
2	マルチーズ、シーザー、ヨーキーのモデルグルーミング 2DMと合同でします	17	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す		
3	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	18	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す		
4	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	19	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
5	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	20	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
6	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	21	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
7	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	22	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
8	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	23	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
9	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	24	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
10	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	25	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
11	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	26	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
12	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	27	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度		
13	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度	28	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
14	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す	29	ベーシック犬 グループで複数頭のグルーミングをする		
15	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す	30	学生の飼い犬にカラーリングをします		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	授業内評価・スピード・手際・コントロール・意欲・出欠・提出物などで評価します				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	公衆衛生・関係法規	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	獣医関連法規	開講年度	2021	配当年次	3
開講科目英名	Veterinary Laws and Regulations	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	行政書士、認定動物看護師				
授業の概要・目的	<p>家庭動物を中心として、飼い主を含む人と動物が関わる法律について解説する。□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>				
到達目標	<p>・狂犬病予防法や動物愛護法などの概要について理解できるようになる。</p> <p>・社会における上記の法律などがどのように関わっているのか複眼的に実感できるようになる。□</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	自己紹介、授業概要説明、法律の仕組み	16			
2	狂犬病予防法(1) 狂犬病の概要、狂犬病清浄国について	17			
3	狂犬病予防法(2) 狂犬病予防法の概要その1 施行年、目的など	18			
4	狂犬病予防法(3) 狂犬病予防法の概要その2 対象動物、輸入禁止動物など	19			
5	狂犬病予防法(4) 狂犬病予防法の概要その4 飼い主と行政の義務、罰則など	20			
6	動物が亡くなった場合のルール(1)人と動物の埋葬ルールの違い□	21			
7	動物が亡くなった場合のルール(2)化製場法について□	22			
8	動物愛護法(1)動物愛護法制定・改正までの経緯	23			
9	動物愛護法(2)目的・基本原則など	24			
10	動物愛護法(3)動物虐待に対する罰則	25			
11	動物愛護法(4)動物取扱業の概要 その1 □	26			
12	動物愛護法(5)動物取扱業の概要 その2□	27			
13	獣医師法 など□	28			
14	前期学習内容の総括	29			
15	前期学習内容の振り返り	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に書き留めたメモなどからの一を作成する				
教科書・テキスト	特になし				
参考書	特に無し				
評価方法・基準	評価の割合は、レポート試験80%、出席率を20%で最高評価点を100とする				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	動物看護	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	動物看護演習Ⅲ	開講年度	2021	配当年次	3
開講科目英名	Practice of Animal Nursing Ⅲ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	大阪市阿倍野区にて25年以上開業獣医師として動物病院を経営				
授業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・犬や猫の日常的な健康管理や内科医療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。 ・手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。 ・動物臨床検査および生態検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の基本的な取り扱い、具体検査、診療補助、輸液・輸血に関わる技術について知る。 ・術前準備、術中補助、術後管理、救急救命について知る。 ・検体検査、生体検査について知る。 				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ガイダンスと身体検査	16	麻酔モニターに関して		
2	ズノーシス・環境衛生	17	細胞診と組織心・凝固系検査		
3	解剖学・生理学(座学)	18	超音波検査と内視鏡		
4	解剖学	19	滅菌・手術準備		
5	画像診断	20	手術器具に関して		
6	血球検査	21	避妊手術・去勢手術に関して		
7	血液生化学検査	22	歯科処置		
8	泌尿科	23	麻酔模擬実習		
9	消化器	24	猫への応用とまとめ		
10	眼科・耳鼻科	25	後期授業のまとめ		
11	皮膚科	26	振り返り		
12	神経科	27	診察実習		
13	循環器疾患	28	診察実習		
14	前期授業のまとめ	29	後期総括		
15	振り返り	30	総まとめ		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)	授業の予習と復習				
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	評価の割合は筆記試験70%、出席率20%で最高評価得点を100%とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマルトレーニング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	補助犬トレーニング I	開講年度	2021	配当年次	3
開講科目英名	Assistance Dog Training I	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	介助犬をそだてる会1年半勤務。日本介助犬トレーニングセンター5年勤務。京都アシスタントドッグ育成協会に勤務、現在に至る。JKC公認訓練士である。2019年人と犬のトータルサポートを目指し「with わん」設立				
授業の概要・目的	<p>身体障害者補助犬をとりまく環境、介助犬がどのような役割をになっているのか基本的な知識を習得する。トレーニングにおいては「犬」という生き物を理解していくうえで基本となる人間の理解とは異なること、犬の物事も理解の仕方、関係の持ち方を体験する。</p>				
到達目標	<p>犬にモノというモチベーターというもの、罰を用いずに犬との関係を持つことを目指すことで犬のトレーニングの積み上げ方の難しさを経験し、「ほめ」のタイミングを習得する</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	授業について	16	後期担当犬決め		
2	介助犬デモンストレーション	17	課題きめ 介助動作 フードも使用可能		
3	道具の使い方について	18	訓練計画をたてる		
4	犬をさわってみよう 前週学習した内容の実技	19	訓練計画にもとづき訓練 フードの選び方		
5	担当犬決め 自分が第一印象で決めてみる	20	訓練計画にもとづき訓練 フードの使い方		
6	自分たちで犬をだしてみよう ハウスの出し入れ、カラーサイズ合わせ	21	訓練計画にもとづき訓練 犬の行動から犬の認知について①		
7	課題きめ 前期残り6コマで何が教えられるか考えてみる、計画	22	訓練計画にもとづき訓練 犬の行動から犬の認知について②		
8	犬をふりむかせてみよう 犬の興味の取り方 フードは使わず	23	訓練計画にもとづき訓練 誘導トレーニングについて 意識して		
9	ほめてみよう フードを使わずに犬に喜びを伝えてみる	24	訓練計画にもとづき訓練 誘導トレーニングについて 無意識に		
10	コマンドを与えてみよう 犬の興味を引きコマンドをさせてみる。ほめる	25	訓練計画にもとづき訓練 介助犬として到達点の理解		
11	計画を振り返り、再考	26	訓練計画にもとづき訓練 計画再考し訓練の取舍選択		
12	課題トレーニング①	27	訓練計画にもとづき訓練 訓練		
13	課題トレーニング②	28	訓練計画にもとづき訓練 後期復習		
14	前期まとめ	29	後期まとめ		
15	振り返り	30	年間振り返り		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	事前に訓練課題を明らかにしておく 事後は訓練の見直し 用意する訓練シートに必ず記入する				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	出席率45%通常点10%実技テスト45%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				